

教育目標	「学園は教える者と、教えられる者とは、相互の信頼によって生かされる精神的な共同体である。」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。						
経営方針	(1)「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」、「自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操」を培う。 (2)「日本人としての美徳を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。						
本年度重点目標	Ⅰ 知育の推進 Ⅱ 徳育の充実 Ⅲ 健康な身体への育成 Ⅳ 豊かな生活の追及 Ⅴ 家庭地域との連携 Ⅵ 生徒募集 Ⅶ 教育施設設備の活用						
重点目標	評価項目	具体的な方策または項目を評価する具体的な指標	平成29年度の実施状況	職員評価	職員からのコメント 69名	関係者評価	関係者からのコメント 8名
Ⅰ 知育の推進	授業の充実と 難関大学進学に 向け啓発	① 国・数・英等で発展学習実施(後期以降) ② 国・数・英等で反復学習実施(復習・演習) ③ 補習補強の柔軟な実施 ④ 進路指導講演実施(高校部・専門家・OB等) ⑤ 学力推移結果受取後の学級／学年指導 情報や目標の共有(中学部・高等部・教科担当) ⑥ 授業時数や計画の見直し	① 12月前後に降英数は非検定教科書等も部分使用し、発展学習を行ったが、 昨年度よりペースを落とした。 ② 各学年全般の学力を考慮し、反復に時間を割いた。昨年度と同様の傾向。 ③ 数学を主に氏名補習を実施、月火木の部活動のない日の放課後30分以内 を目安に指導した。理社も活動的だった。 ④ 7月と3月全学年対象に進路課長講演を実施。3月J3対象に旧S3OB講演実施。 大学進学の基本、心構え、合格状況等本校の実際に即して説明し、啓発指導した。 ⑤ 主にベネッセテスト・英検の結果について各回後推移・進捗状況を共有できる よう新たにシート工夫し、回覧しその時々計画や改善に活かした。 ⑥ 基礎基本の反復を配慮する機会が概ね増えた。 …	A 33.3% B 37.7% C 0% D 29.0%	・ 副教材を複数展開し、実態に応じた丁寧な指導を心がけている。 ・ 補習を実施している光景をよく見かける。 ・ 数学科の教科指導力向上とノウハウの共有が目立つ。 ・ 順調に生徒を指導している。また生徒も応じている。 ・ 全体的な学習指導が展開されている。 ・ 個に応じている面が以前より見受けられる。 ・ 中高の教員の相互乗り入れの機会が増えた。 ・ 教科指導のノウハウ共有等の職員研修がますます重要になる。 ・ 学習環境の整備がもっと必要である。ICT、カリキュラムなど。	A 25.0% B 75.0% C 0% D 0%	・ 先を常に頭に入れながら今をこつこつと積み重ねて 頑張ってもらいたい。 ・ 中学部時代より7時間授業に慣れていくことはよい。 高校進級時に力になる。 ・ 中学時代からの先取り学習の柔軟な対応が求められる。 細部までの学習可能な生徒の学びができる環境を 整えてほしい。 ・ 進学のための専門性を持った指導者がさらに必要。
生きる力や総合力を はぐくむ活動の設定	① 学習・体験活動とその目標成果の整理・広報・ 見える化・発表等の総合力育成の場を設定 行事ごとの一斉指導 手立ての引き継ぎ ② 実行委員会を組織した委員会・生徒活動 実行委員会と委員会の系統・目標・活動の見える化 及び一斉指導 ③ 発達段階や興味を踏まえ、朝読書を奨励する。 読書ノートを導入、振り返りを促進【12冊/年】	① 行事の反省やまとめのレポートを継続的に作成指導した。内容的に 分析力・考察力、表現力を向上させるものに少しずつ改善した。 第三者に対しても自校の活動をアピールする体制が少し改善した。 ② 中学行事実施の際、HR委員・専門委員を主に実行委員会を編成。 社会性と主体性の向上を狙った。上級生から学び、下級生を指導 する体制は大分整った。準備活動の途上の情報や事後の成果を 振り返り、共有する手立てをさらに整備したい。 ③ 個人の取り組みにまだまだ差があるが、意識と集中力は維持できた。 学年ごとの狙いを設定して、定期的に進捗を見るには至っていない。	A 24.6% B 44.9% C 5.8% D 24.6%	・ KJQテストを採用し、生徒理解を深めようとしている。 ・ 生徒の主体性は少しずつ向上していると思う。 ・ 朝読書の改善の余地は大きい。読書量も増やしたい。 ・ レポートやプレゼンの活動は将来大学受験の時に活かされる。 ・ ふりかえり活動は色々な意味で生徒の力を高める。 ・ ポートフォリオ作成的な視点を理解させたい。	A 0% B 100% C 0% D 0%	・ このような活動の設定から生徒自らが意識を高めていく 活動をさらに期待したい。 ・ 委員会活動等で社会性や生きる力を身につけ、 自立できる人を育ててほしい。	

	<p>日本文化理解と国際教養養成(総合学習)</p>	<p>① 日本文化理解行事実施【2回／年】 J1 自然体験・富士山学習・地域社会調べ・探訪 J2 寺社宿泊研修、企業探訪、地域・大都市探訪 J3 寺社・精神文化調べ、企業研修、地域・古都研修</p> <p>② 講演や交流会の実施・研究 J1 科学 J2 医療・企業 J3 医療・企業・郷土</p> <p>③ 英会話授業【週1回】とアウトプット実践</p> <p>④ 禅寺の活用</p> <p>⑤ 国際教養講話実施</p>	<p>① J1 4月御殿場宿泊研修、10月三保の松原・久能山東照宮、3月盲導犬の里富士ハーネス・富士山世界遺産センター J2 4月可睡齋宿泊研修、3月磐田ヤマハ発動機見学 J3 4月藤枝蓮花寺池公園・郷土博物館、10月関西修学旅行 J1で地元や富士への理解、J2で寺社やキャリアへの興味関心喚起、J3で地元再考、日本文化・古都／主要都市実地研修の機会とした。</p> <p>② J1～J3 10月ディスカバリーパーク科学講演 J2 10月JICA・ジャパンマリン・上野博物館等訪問見学 J3 4月藤枝蓮花寺池公園・郷土博物館研修事前事後指導を実施し、研修レポート作成と掲示を行った。</p> <p>③ J1～J3 週1回の英会話TT授業及び年3回のスピーチ指導実施。外国語活動の多様化に貢献、英検の成果にも反映された。</p> <p>④ 学園原点のスピリットの一端を実地研修する機会としている。J2が4月に可睡齋研修実施。事前事後指導等活用法再考まだまだ必要。</p> <p>⑤ (月)1限全体講話として実施。7月日本人と和の精神、11月A・Aの現在インド、1月ヨーロッパの現在 アイスランド、毎年実施。 J2は10月オータムキャンプひと月前に日本造船工業会による海洋講演も実施。</p>	<p>A 31.9% B 47.8% C 4.3% D 15.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事のPDCAを明確に行いたい。 ・ よく計画的に運営されている。 ・ 発達段階に応じたものを常に考えていきたい。 ・ 目先の対応で内容をコロコロ変えてはいけない。 ・ 様々な学びは今後の学習や生活の向上に役立つ。 ・ 様々な経験を与え生徒の視野を広げることにつながっている。生徒の意欲向上にもプラスになっていると思う。 	<p>A 12.5% B 75.0% C 0% D 12.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な体験、経験がとてもしかされていると思う。 ・ 日本文化のことを掘り下げ学ぶことはコミュニケーションツールとなる。先人の知恵を知り、ルーツを知る良い機会だと思います。意識を高く持ち、参加してほしい。 ・ 国際人として活躍するためにも先ず日本文化を理解してほしい。 ・ 海外の方へ英語で説明できる機会も増えとうれしい。
<p>II 徳育の充実</p>	<p>基本的生活習慣の確立</p>	<p>① 身だしなみと挨拶の指導 校風チェック【1回／月】 校風委員による挨拶運動【1回／月】</p> <p>② TPOに合わせた所作・マナー・学習態度等を発達段階をふまえて指導 打合せ、定例中学部会(週・月)等にて情報交換し一斉指導の手立てを共有する</p> <p>③ 私物貴重品管理・整理整頓・清掃指導の徹底</p> <p>④ 欠席・遅刻の減少【月次皆出席】 基本的生活習慣の維持</p>	<p>① 4月の全体集会で代表生徒のロールプレイを活用し基本を示させ、理解や定着を狙った。集会の折生活態度・マナーについて注意指導を行い、改善を促した。月例校風検査は初めて男女を別担当にして実施し、良好な指導状況が継続した。</p> <p>② SHRHは無論、(月)1限「道徳」・(金)6限「特活」・隔週(土)1～3限「MD」時等において、臨機応変に学級指導や学年集会指導を適宜組み合わせ共通理解のもと安定的に対応指導できた。</p> <p>③ 概ね良好に取り組み、清潔感が確保された。 清掃の意味合いや効果について啓発指導する機会を設けてみたい。</p>	<p>A 39.1% B 49.2% C 7.2% D 4.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遅刻が常態化している。対策を講じたい。 ・ 積極的に生徒指導が展開されていると感じる。 ・ 共通認識し、全体で取り組んでいると思う。 ・ 熱心に取り組んでいると思う。 ・ 生活態度は落ち着いていると思う。 ・ 月1回の校風検査はふりかえるよい機会になっている。 ・ 教員間でよく話し合いを行っているように見受けられる。 ・ 清掃面では床の汚れが早い。芯や消しゴムのカス等の処理に注意。 ・ 明るく朗らかな生徒が育っている。 ・ あいさつはまだ弱いと思う。 	<p>A 0% B 87.5% C 12.5% D 0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遅刻への対策改善を早急に行う必要あり。遅刻における原因について情報を蓄積し遅刻者が常習化させない体制を作っていたきたい。 ・ とても熱心に取り組んでいると思う。 ・ 校風検査はどの先生も共通認識をもってやってほしい。 ・ 身だしなみ、挨拶は評価の対象であり、コミュニケーションでもある。 ◇◇◇ ・ 徳育についての指導が良くなされている。 ・ 校内での礼儀正しいあいさつや身だしなみは清潔感があって良いと思う。ただ全体的にトイレ掃除が行き届いていないように感じるので残念。
	<p>特設道徳の充実と行動化</p>	<p>① 本校理念の浸透、一斉道徳講話実施【4回／年】</p> <p>② ボランティアの実施【複数回／年】 FWの活用も視野に入れる</p> <p>③ 自律性と社会性を培う場を設定し実践力行動力向上を図る</p> <p>④ 交通マナーの指導と実践 交通安全教室【1回以上／年】 交通安全委員呼びかけ</p> <p>⑤ 道徳副教材を年間計画で使用 「私たちの道徳」を必携し活用</p> <p>⑥ 情報端末使用時の人権問題啓発指導 講演実施と集会等で啓発指導</p> <p>⑦ 「いじめ」皆無の指導【調査3回／年】</p>	<p>① 年間計画に基づき指導要領に沿った題目について、全体集会にて実施した。「道徳」の三分の一を活用。担当は、校長・中学教頭・中学部長。ワークシートを準備し、グループワークを実践開始した。「考え、議論する道徳。」の準備。生徒の反応は様々、全体で行うことの長短を実感した。 4月:強い意志、6月:謙虚、7月:和の精神 9月:弱さの克服、10月:日本人としての自覚、12月:生命の尊重、2月:感謝</p> <p>② J2スプリングキャンプ時に愛野公園にて清掃活動実施、J1・J3 11月には学校敷地周囲と藤枝駅南口周辺の清掃活動実施。生徒の取り組みは良好。</p> <p>③ 各集会や行事における主体的な活動は頼もしく、高校部やその後のための基盤づくりとなった。学園祭や体験学習会などでさらに活動的にさせたい。</p> <p>④ 4月集会にて校地内・学校周辺の注意点やマナーについて中3生が下級生に助言を行い、意識を高揚させた。内容の改善や工夫の余地はまだある。5月にマジオ自動車学校による交通安全教室を実施した。平素の計画的な安全教育も必要だと感じる。</p> <p>⑤ 全体道徳のワークシートに盛り込み、全学年横断的に活用した。</p> <p>⑥ 7月にNPOイーランチによる携帯安全教室実施。</p> <p>⑦ 小競り合いの段階で指導したり、協動的に予防対応したことにより、大事に至ることがなかった。チームワークが良く機能した。</p>	<p>A 27.5% B 46.3% C 4.3% D 4.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSによるトラブルが発生しているが、全体で対応している。 ・ S2のDGALPのように学外の団体とのコラボレートもよい。 ・ 携帯安全教室は現代の生徒達の安全管理に欠かせない。 ・ 全体的な徳育指導が行われていると思う。 ・ 交通マナーは気をつけたい。あちこちでよくスピードを出している。 ・ 「道徳」指導には高校若手教員を参加させたい。 	<p>A 12.5% B 87.5% C 0% D 0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ とても細かな面まで指導がなされていると思う。 ・ 自転車での並列進行注意。 ・ 信号機のない交差点で停止の標識があるにもかかわらず止まらず無視してそのままってしまう。 ・ 非常に危険に感じる事が本校に限らないがある。 ・ 交通マナー指導は継続が大事。 ・ 発達段階に応じて、今後の進級のためにも道徳性を身に付ける指導を継続してほしい。 ・ 交通マナーの指導は学校のみで責任ではないが、指導を継続してほしい。 ・ 登校時間を今よりずらしてもよいのではないかと思う。登校時刻5分前の混み具合には不安を覚える。

	<p>個の尊重と主体性の醸成</p>	<p>① 情報交換で個の把握【月次・週 定例会実施】</p> <p>② 生活帳の熟読とコメント【月次皆提出】</p> <p>③ 個別指導には、養護・カウンセラー・生徒課等チームの活用</p> <p>④ 中学生生徒理解研修会【全職員で実施】</p> <p>⑤ KJQの実施と評価の活用</p>	<p>① 各ミーティングでの情報交換が迅速化し、対応の精度が高まった。</p> <p>② 長欠や諸事情を抱える生徒・家庭への対応を迫られる傾向有り。</p> <p>③ 担任の熟読、アドバイス記入、情報交換をよく継続した。初期対応の精度が向上し、アドバイス記入を生徒の自尊感情を高めることに活用した。注意事項については対応を協議し、連携して臨んだ。</p> <p>④ 生活が不安定になりがちな生徒に関して、支援方法を部長・教頭を含め協議し、家庭と連携した。年度末には外部講師を招聘し、生徒指導支援技術について研修した。</p> <p>⑤ 7月に実施し、中学部の各担任より顕著なあらわれについて報告した。情報や指導方法について共有し、職員同士の連携を高めた。生徒の自己有用感を伸ばすことに資する機会とした。研修会用資料書式の改訂を進めている。</p>	<p>A 34.8%</p> <p>B 33.3%</p> <p>C 2.9%</p> <p>D 29.0%</p>	<p>・ きめ細かい指導が臨機応変に行われている。</p> <p>・ 研修の効果が高い。学校全体での周知ができ、また指導力も向上した。</p> <p>・ 職員全体での取り組みが行われているように見受けられる。</p> <p>・ 個の理解と対応によく気を使っている。私立の生命線として大切にしてほしい。</p> <p>・ 若手教員への研修効果に注目。情報交換と指導力向上を目指したい。</p> <p>・ 4月のオリエンテーションキャンプでは中学全体で朝の集いに遅刻した。連絡を迅速にすべきではないか。</p> <p>・ 情報交換は極めて大事。研修を今後も取り入れてほしい。</p>	<p>A 87.5%</p> <p>B 12.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・ 研修や指導が充実しており、十分な対応がなされていると思う。</p> <p>・ 自立した人物に育つようご指導いただきたい。</p> <p>・ 生徒の問題は父兄には耳に入りにくいと思いますが、この部分で先生方の評価が高いのは父兄も安心できます。</p>
<p>Ⅲ 健康な体の育成</p>	<p>団体行事の用意（団体行動や行事運営の基本も学習）</p>	<p>① スポーツデイ実施【参加率96%以上、2回/年】</p> <p>② 身心の持久力育成【耐寒持久走会参加率96%以上】</p> <p>③ 体育大会の活用【長縄跳び30回以上】【行進評価80%以上】</p> <p>④ 武道奨励(男子:柔道、女子:剣道) 時数の確保 ねらいの理解と浸透</p> <p>⑤ 部活動奨励【参加率80%以上】</p> <p>⑥ ダンスデイ実施</p>	<p>① 7・12・3月に実施。12月からJ2中心に運営した。男女混成チームが概ね普通となった。その長所短所を十分に観察し、集団育成に役立てたい。全体参加率：7月97%、12月98%、3月95%、</p> <p>② 天候に恵まれ予定通り実施。スタート・ゴール地点は市道上とした。栃山川周回コース2周。予め当局には許可申請や連絡を済ませた。出走率：J11: 80%、J12: 90%、J21: 91%、J22: 81%、J31: 88%、全体: 87%</p> <p>③ 一つの目標に向かって取り組み、集団育成に活かす。行進や長縄跳びについて目標には及ばなかったが、新しい意識を持つことが出来た</p> <p>④ 耐寒持久走会指導終了後武道にスイッチする。本校にとって欠かせない取り組み。柔剣道は11月以降実施。啓発指導は欠かせない。</p> <p>⑤ 中高一貫の集団育成の好機。啓発指導も行い明誠生らしさを涵養している。加入率：J11: 93%、J12: 93%、J21: 95%、J22: 86%、J31: 96% 全体: 93%</p> <p>⑥ 11月オープンキャンパス最終日(土)に実施。見学者数は、100名前後。表現のねらいについてチームの紹介時にアピールを必ず入れるよう指導した。オリジナルさを演出することに意欲的なチームも出てきた。昨年度と比較してレベルアップした部分がよく見られた。</p>	<p>A 31.9%</p> <p>B 44.9%</p> <p>C 2.9%</p> <p>D 20.2%</p>	<p>・ 十分に行事指導ができています。</p> <p>・ 部活動においても行動力や体力が向上していることが分かる。</p> <p>・ スポーツデイでの運動は生徒同士の新しい友達を作るよい機会であった。</p> <p>・ スポーツデイの際にその意義や目的を生徒と教員が共有できることが大事。</p> <p>・ 数の少ない女子が男子と一緒に少し心配ですが・・・。</p> <p>・ 生徒が頑張っているところを多くの保護者に見ていただきたい。</p>	<p>A 37.5%</p> <p>B 62.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・ 行事を一つ一つこなして、たくましく成長してほしい。</p> <p>・ 団体の一つ一つの目標に向かってそれを達成することは、団結力アップになる。</p> <p>・ 中学で実施する実力確認テストは、高校に進級してから大学受験につながる。</p> <p>・ 文武両道を忘れずにご指導いただきたい。</p> <p>・ 行事回数としてはちょうど良いと思います。</p> <p style="text-align: center;">◇◇◇</p>
<p>Ⅳ 豊かな生活の追及</p>	<p>特別活動や課外活動の準備と充実</p>	<p>① キャリア教育の一斉の取り組み【MDIに設定 7時間/年】</p> <p>② 青藍祭に、部・学年・学級で参加実践力やボランティア精神を磨く場とする展示物には価値観教育への成果を記す</p> <p>③ フィールドワーク【2回/年】、芸術鑑賞 自身の思考力や発想力に資する体験学習を行う。事前事後指導の充実。</p> <p>④ 行事や活動のまとめと発表・展示 ねらいと学びを振り返り、次の行事(節目)に向け展望させる。</p> <p>⑤ 学習集団の向上(行事・授業等活用) プレゼンや議論を活かし、コミュニケーション力や創意工夫する力、思考力を上げる。混成集団をつくり、他者への理解を深め、また、集団の力を自覚理解する。</p> <p>⑥ 各種団体の文芸コンテストに参加想像力を発揮し、自他の理解を深め、お互いに学び合う仲間であることを自覚する。</p>	<p>① 年間特別活動計画に沿ってベネッセのワーク・ファイル等活用。多少変更を加えながら、楽しく自己探求ができる手立てを工夫した。年次毎の流れが明確に出るように取り組みたい。</p> <p>② 模擬店・アトラクション(J3)、展示(J2・J1)等の活動に取り組んだ。案内や会場説明を番番で行うなど主体的に会場を運営した。創意工夫の面はまだ改善の余地が多いが、気配りの仕方など学びつつ今後の自身の人間性の伸長に資することが出来たのではないかと思う。</p> <p>③ 7月制作体験J1(漆塗り粉貝箸)、J2(陶芸)、J3(陶芸)。受け入れ側の設備に故障があり、J2は急遽(染め物)から変更した。3月J1 富士ハーネス、富士山世界遺産センター、J2 ヤマハ発動機、J3 修了親睦会(ラグーナ蒲郡) 事前事後指導の一層の深化に期待。</p> <p>④ 11月和太鼓演奏鑑賞 事前指導時の調べ学習に労力をさらに注ぐことによって、事後学習の成果を期待したい。発展性の面で自分のもの・チームのものにしてほしい。歴史や文化への興味関心を維持したい。</p> <p>⑤ ワークシートが充実してきた。一層の展開を図っていきたい。注意しないと記述が画一的になりやすいのでその点は十分指導が必要。振り返りの際個人の考え方、感じ方、生き方まで記述できるようになるとよいと思う。主体性・自己有用感・自尊感情を導き出したい。</p> <p>⑥ 生徒主体の行事の企画運営の機会やそれらの指導について計画的に実施しているが、パターン化の短所の面も少し出ている。学級内でのグループワークを奨励し、生徒同士の意見の交流の機会をさらに設け、議論させたい。</p> <p>⑦ 呼びかけに留まる傾向が出てきた。学年・学級で参加を明確に打ち出し、活動の成果を共有できる体制にしたい。</p> <p>⑧ 目標に沿って学年で活動する機会が増えた。混成による活動を増やし学年のアイデンティティーづくりも意識したい。時道に活動し、引き続き生徒の充実感や満足感の向上に繋げていきたい。</p>	<p>A 29.0%</p> <p>B 44.9%</p> <p>C 1.4%</p> <p>D 24.6%</p>	<p>・ 学園祭での取り組みにはまだまだPDCAが必用では。</p> <p>・ 評価は正直難しいが、本校生徒ならではの力が育っているのではないか。</p> <p>・ キャリア教育の流れが見えにくい。</p> <p>・ 学園祭での舞台発表の機会を増やしたらどうか。</p> <p>・ 学園祭への取り組みが内容活動等すべてにおいて向上した。</p> <p>・ MDでの取り組みではクラスだけではなく、学年という大きな一つの集団の統一性が図れた。</p> <p>・ あらゆる体験活動を通じてポートフォリオ化する必要がある。</p>	<p>A 12.5%</p> <p>B 87.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・ いろいろな活動があり、豊かな心も育っていると思う。</p> <p>・ 職業調べ等のキャリア教育取り組みの見える化を行ってほしい。</p> <p>・ 生徒達が活動をこなすだけにならないように自分にどんな意義があったのかまとめておくとうよいと思います。</p>

V 家庭・地域との連携	対話の増加	<p>① 面談の奨励(希望面談も用意)【4回／年】</p> <p>② 保護者会等実施【複数回で参加率100%】</p> <p>③ 行事関係文書配布【2週間以上前】 子供の現れの連絡(けが・病気含む)</p> <p>④ 内進高校生の情報も含め生徒の良い点の発信 中学部だよりの活用</p>	<p>① 4月新年度個別面談①、7月休み三者面談、11月個別面談②、オープンキャンパス中希望面談、11月～2月個別面談による進級指導等実施。</p> <p>② 6月地区別懇談会(交通安全対策・夏の準備)、2月学級／学年懇談会(進級準備)。参加率についてはおおよそ達成。</p> <p>③ 各行事2週間前に通知を配布した。内容が気になる場合、教員間で対策を練り生徒や保護者とコミュニケーションをとり、対策を練った。</p> <p>④ 7月と3月に全学年対象に進路講演会実施。自校の進路の基本知識や現状について説明してもらった。自分のイメージづくりに役立てた。2月にはJ3対象で内進S2生徒に講演してもらい進級指導した。さらに3月には卒業内進S3生徒に講演してもらい、高校時代の過ごし方学習・生活・悩みへの対処法などについてアドバイスしてもらった。中学部だよりを本年度より発行開始した。</p>	<p>A 26.0%</p> <p>B 44.9%</p> <p>C 1.4%</p> <p>D 27.5%</p>	<p>・生徒・家庭のあり方が多様化してきており、学校に対する考え方も様々になっている。個々との面談を通して家庭に学校の考え方を常に知らせておく必要性はこれからも増えていこう。</p> <p>・行事関係文や面談の早い対応は今後の保護者との関係を深める一つの手段である。</p> <p>・保護者との連携が密に取れている。</p> <p>・普通科・英数科それぞれの情報発信を行っている点で、生徒達の為になっていると思う。</p>	<p>A 12.5%</p> <p>B 75.0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>・保護者と先生方の連携が取れているか疑問に感じる。</p> <p>・保護者との信頼関係もとても大事であると思う。</p> <p>・明誠受験、入学時に学校教育方針等を調べ、学校に足を運ぶなど、魅力を感じて受験していると感じる。</p> <p>・英数科、普通科それぞれの情報発信を活用し、高校進級時に自分の将来につながる科コースの選択を生徒が主体的にできるようにしてほしい。</p> <p>・地区会や行事などが多くあり、先生と意思疎通が取りやすい。特に地区会では疑問や不安にすぐ答えて頂いて貴重な機会となっている。</p>
	広報活動の充実	<p>① 中学部だよりの発行 学年通信の発行【8回以上／年】</p> <p>② 子供安全連絡網の活用</p> <p>③ オープンキャンパスでのアンケート実施【参加率2回で100%】</p> <p>④ 行事や発表会の開放</p>	<p>① 年間8回発行。写真を必ず入れ、親しみやすく時事の学校ニュースを紹介し、また、学校活動の目標と実際を紹介し、保護者の理解を促した。</p> <p>② J3修学旅行前の台風接近により事前の調整が必要となったが、その際保護者への連絡手段として大変役立った。各方面で活用を検討しても良いと思う。</p> <p>③ アンケート内の各意見に対し適切に対応した。参加率は昨年度と比較して改善し、ほぼ目標を達成。</p> <p>④ 科学講座、キャリア講演、ダンスデイなどの発表会を本年度も学校見学の小学生や保護者にも開放した。特に科学系には周到な準備が必須。ホームページの更新については課題が残る。</p>	<p>A 43.5%</p> <p>B 39.1%</p> <p>C 1.4%</p> <p>D 15.9%</p>	<p>・学年通信がどの様に役立っているかを職員が共通認識を持つ必要がある。</p> <p>・配布物は丁寧に作られており、アンケートも熱心に行われていた。</p> <p>・子供安全連絡網の活用が出来ていなかったと思う。</p> <p>・生徒達の取り組みのPRに貢献している。</p>	<p>A 87.5%</p> <p>B 12.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・活動に向上点や充実した点が見られると思う。</p> <p>・学校通信等の発行物は父兄の興味をそそり、見やすくすることにより生徒が学校での様子を話したりする。学校に対する安心感を高める。</p> <p>・広報活動に様々な工夫をこらして取り組んでいると思う。</p> <p>・オープンキャンパスのアンケートはとても参考になる。有効活用してほしい。</p> <p>・広報活動が充実している。</p> <p>・明誠ニュースなど写真や文字など見やすく、内容もボリュームがあり学校の様子がよくわかる。</p> <p>・今年は連絡網の活用が安心材料になった。</p>
VI 生徒募集	渉外活動の充実	<p>① 説明会や講習会・オープンテスト等実施</p> <p>② 小学校や塾への渉外活動</p> <p>③ 各種行事の活用 (文化祭等)</p> <p>④ リーフレット作成</p>	<p>① ・説明会 6/10 -43世帯, 7/1 -37, 8/5 -62, 9/12 -51, 10/14 -42 11/4 -77, 7/8掛川 -0・静岡 -0, 名簿世帯数:188 前年比164%</p> <p>・講習会 9月 -57名, 11月 -58名 前年比101%</p> <p>・プレ8月 -65名、オープン①9月 -82, ②11月 -88 前年比117%</p> <p>講習会・オープンDMとTELで、勧誘とバックアップを実施。リーフレットによる事前申し込みも積極的に促進し、進捗を分析しながら補強活動を実施した</p> <p>・野球説明会9月 -4、練習会8月 -76 4・5年説明会10月 -17, 2月 -55</p> <p>・4・5年説明会 10月 -17, 2月 -55</p> <p>・4・5年体験学習会 部活8月 -10, 英語10月 -43, 理科2月 -97</p> <p>・入試 一次 84 :単73 併11 二次 7 :単7 前年比128%</p> <p>② 小学校訪問110校以上 前年比137% 5月(学園祭前)・7月(夏面談前)・2月(学習会前)の3回を基本とし、臨機応変にバックアップ訪問 志様・小笠・静岡地区の有名個人塾を訪問。学校案内・入試行事リーフレット・学園祭／体験学習案内・通学バス案内・通学費補助案内等々配布。</p> <p>③ 学園祭や定期演奏会に合わせて学校訪問し、ポスター・リーフを配布しつつPRした。また、名簿を活用し同時期に案内状も送付し相乗効果を狙った。4・5年対象の10月英語/2月理科体験学習会については、ひと月前より訪問活動を開始し、また招待状を送付。実施2週間前にはPRを概ね済ませていた。学校への好感度・期待値は良く向上し、参加児童は増加した。</p> <p>④ 入試行事年間予定リーフレットに加え、各種リーフ(講習会・オープンテスト・体験学習会・通学補助支給)を先回りして適時送付配布した。今年度もA3版体験学習会用自家製ポスターを校外外で掲示推進した。体験学習会用の広報なら公立機関に掲示が可能で、広報推進できる。</p>	<p>A 58.0%</p> <p>B 30.4%</p> <p>C 1.4%</p> <p>D 10.1%</p>	<p>・渉外活動のおかげで多くの生徒が来ている。今後も継続してほしい。</p> <p>・機会、内容共に良いと思われる。</p> <p>・定期演奏会への無料招待のような活動をほかでも行いたい。</p> <p>・数は増えているがクオリティはどうか気になっている。</p> <p>・参加者のモチベーションが高いように思われる。</p> <p>・渉外活動が積極的に行われている。</p> <p>・少数ながら中学部全体で良く取り組んでいる。</p> <p>・説明会・講習会の案内が机上に置かれているのを見て、活動が実施されているという意識がもてる。</p> <p>・受験者が年々増えていることは本校が着実に地域から信頼を得ている証だと思う。</p> <p>・説明会・講習会などへのきめ細かい参加勧誘がとても大事。</p>	<p>A 100%</p> <p>B 0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・施策・内容・実施状況についてとても評価できる。</p> <p>・少子化に伴い児童数が減少する中での入学数増加は評価できる。</p> <p>・生徒募集は学園経営における基盤であり、継続して充実を図っていただきたい。</p> <p>・渉外活動の充実に引き続き期待する。</p> <p>・明誠という学校の良さが浸透してきている結果だと思う。</p> <p>・6年前より参加者が増えているように感じる。他校にない取り組みを知ってもらう場になればよいと思う。 ◇◇◇</p> <p>・部活動の実績、大学合格率の高さ、生徒の落ち着きある行動などにより明誠が信頼されている。自信をもって渉外活動を継続していただきたい。</p>
VII 教育施設・設備の活用	快適な教育環境の実現	<p>① 教室内外整理整頓、施錠管理、電源管理の徹底【放課後巡回 3巡／日】</p> <p>② 駐輪場管理【朝巡回／日】</p> <p>③ 設備・備品の保全【放課後巡回 3巡／日】</p> <p>④ 防災教育と訓練の実施【2回／年】</p>	<p>① 4月全体指導実施。集会にて、ロッカー・駐輪場等使い方を実演した。例年通り一定の成果を確保した。施錠や電源管理については、SHR・放課後巡回時に注意啓発指導実施。放課後輪番で3段階で巡回し、ノート記録を継続している。</p> <p>② 朝登校時担任が輪番で巡回し、施錠確認・駐輪方法・整備状況などについて確認指導した。概ね状況は良い。</p> <p>③ HR・集会時啓発指導を行い、また、放課後巡回時適宜啓発注意とチェックを行った。教室内の壁や電気スイッチの破損については反省点が残る。</p> <p>④ 4月全校避難訓練実施。迅速にグランド整列点呼報告完了。9月教室内避難訓練及び防災ワークシート学習実施。災害安全教育に取り組んだが、少しパターン化した傾向がある。</p>	<p>A 33.3%</p> <p>B 42.0%</p> <p>C 1.4%</p> <p>D 23.2%</p>	<p>・清掃指導や駐輪指導が積極的に行われている。</p> <p>・自転車の敷地内通行マナーについて啓発指導を徹底すべき。</p> <p>・隅々まで注意が行き届いている。</p> <p>・移動教室時の管理はまだまだ甘いのでは。</p> <p>・毎日駐輪場を巡回していることを知っている。よく指導している。</p>	<p>A 12.5%</p> <p>B 75.0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>・きめ細かな指導がなされていると思う。</p> <p>・清掃指導、駐輪指導は継続してもらいたい。</p> <p>・定期的な防災教育・訓練の実施によって生徒自身が主体的に考え、行動する機会を与えてもらいたい。</p>